釜石労働基準監督署からのお知らせ

令和7年 5月

1　釜石支部主要企業訪問

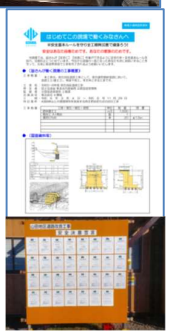
取材協力：公益財団法人岩手労働基準協会釜石支部

４月８日に株式会社小澤組様を訪問しました。

株式会社小澤組

【安全衛生活動】

工事現場ごとに、**工事内容の概要や、重点安全目標を定めて安全管理に努めています。新規入場説明資料としても配付**し、下請け業者も含めて現場が一体となって安全管理に努めています。



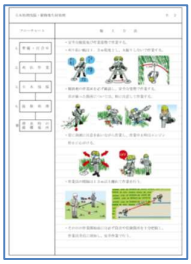
店社からは、毎月の安全パトロールを実施し、指摘内容を改善させた後には、他現場へも良好点、注意点を他現場へも水平展開し、会社全体での安全管理を行っています。また、**全作業員が安全決意宣言**を実施することによって、安全意識の向上に努めています。

【安全教育】

労働災害を直接体験することは出来ません。このため、従業員の災害への意識を高めるために、**ＶＲ事故体験安全教育**を実施しています。

ヘッドマウントディスプレイとヘッドフォンを着用して、事故の被災者としてVRで事故を体験します。「自分の事故」として臨場感をもって研修するため、業務に慣れた社員の危険意識向上にもつながります。体験後の検証、再発防止策を行うことにより安全管理体制の強化につながっています。

【作業指示書の見える化】



現場での作業指示は、言葉では伝えにくい内容がありますが、文字ばかりの作業指示書は読みにくくなります。**イラストで動きや注意を表現**することにより、作業員に分かりやすい作業指示書を作成しています。

【現場の安全管理】

トンネル内での工事では、高所作業車からの落下物を防ぐために**全側面にネット**を張っています。また、効果的な注意喚起するために**電子ホイッスル**を用いています。

【転倒防止対策】

工事現場の濡れた鉄板の上は、歩行者も安全靴を履いた従業員にも転倒の危険があります。敷鉄板用の滑り止めマットを敷いて転倒防止対策を講じています。

【働き方改革】

・時間外労働の削減

完全週休二日制を達成していると共に、**ノー残業デー**の設定により働き方改革を推進しています。

2　労働災害発生状況

【令和６年労働災害（確定）】
８８件（前年同７９件）
死亡災害　１件（同０件）

【令和７年労働災害（３月末現在）】
２０件（前年同期１３件）
死亡災害　０件（同１件）

【３月届出の災害事例】

倉庫内で脚立に乗って荷物整理をしていたところ脚立が転倒。墜落し骨折したもの。脚立使用時の墜落保護用のヘルメットの着用、脚立の転倒防止の徹底をお願いします。

STOP! 熱中症 クールワーク キャンペーン

職場での熱中症により近年は、
一年間で約30人が亡くなり、
約1,000人以上が4日以上
仕事を休んでいます。

◀キャンペーン実施要項

キャンペーン期間

4月	5月	6月	7月	8月	9月
準備			重点取組		

準備期間 4月 にすべきこと

きちんと実施されているかを確認し、
☑チェックしましょう。

☐ 労働衛生管理体制の確立

事業場ごとに熱中症予防管理者を選任し
熱中症予防の責任体制を確立

☐ 暑さ指数(WBGT)の把握の準備

JIS規格に適合した暑さ指数計を
準備し、点検

☐ 作業計画の策定

暑さ指数に応じた休憩時間の確保、作業中止
に関する事項を含めた作業計画を策定

☐ 設備対策の検討

暑さ指数低減のため簡易な屋根、通風
または冷房設備、散水設備の設置を検討

☐ 休憩場所の確保の検討

冷房を備えた休憩場所や
涼しい休憩場所の確保を検討

☐ 服装の検討

透湿性と通気性の良い服装を準備、送風や
送水により身体を冷却する機能をもつ服の
着用も検討

☐ 教育研修の実施

管理者、労働者に
対する教育を実施

ガイド・教育動画　e-learning

☐ 緊急時の対応の事前確認

緊急時の対応（異常時における連絡体制や
対応手順等）を確認し、関係者に周知

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会【後援】関係省庁（予定）

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare ・都道府県労働局・労働基準監督署

（R７.２）